

「水」から 地域資源活用を 考える シンポジウム

参加
無料

2月7日(木)までに
明和町防災企画課へ
メール、電話またはFAXで
ご参加いただく方の
お名前をご連絡下さい。

平成31年 2月16日(土) 14:00~16:30

●いつきのみや地域交流センター 三重県多気郡明和町大字斎宮2311番地

「水」は生活には欠かせないものであり、人にとって重要な資源です。全国でも「水」を活用した地域活性化の取り組みが行われています。三重県明和町は、古代から中世に天皇の代りに伊勢神宮に仕えた皇女「斎王」の住んだ都「斎宮」があった町であり、町内には井戸が多く残っている地下水の豊富な町で、現在、地元の水を使った産学官連携日本酒づくりに取り組むなど地域資源の活用を進めています。

町制施行60周年を迎える記念の本年度に、この明和町で「水」の持つ可能性、そして「斎宮跡」や地域資源を活用した取り組みに関するシンポジウムを一般財団法人国土計画協会と共同で開催します。

14:00	開会
	◆主催あいさつ (一財)国土計画協会 専務理事 幾度 明 明和町長 世古口 哲哉
14:10	◆基調講演 演題「水」から考える地域資源活用とCSR 講師／三菱ケミカル株式会社 環境・生活ソリューション部門 部長 吉田 将来
14:55	◆取組報告 「史跡斎宮跡と、日本遺産の取り組み」 明和町斎宮跡・文化観光課長 中野 敦夫
15:10	◆パネルディスカッション 「「水」から地域資源活用を考える」 ●パネリスト 坂本竜彦(三重大学大学院生物資源学研究科教授) 近藤玲介(皇學館大学教育開発センター准教授) 千田良仁(皇學館大学教育開発センター准教授) 吉田将来(三菱ケミカル株式会社) 明石典男(三重県立斎宮歴史博物館長) 松田丈輔(一般社団法人 神都の祈り代表理事) 中野敦夫(明和町斎宮跡・文化観光課長) 堀 真(明和町上下水道課長) ●コーディネーター 板井正斉(皇學館大学教育開発センター准教授)
16:30	閉会

●お問い合わせ

三重県明和町防災企画課

〒515-0332 三重県多気郡明和町大字馬之上945
TEL0596-52-7112 FAX0596-52-7133
メールアドレス bousai@town.mie-meiwa.lg.jp

一般財団法人 国土計画協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町13番地3号
TEL03-3511-2187 FAX03-3511-2188
メールアドレス info @kok.or.jp